

人権等に関する行事予定

《2月》

- ◆北方領土返還運動全国強調月間
- ◆薬物乱用事犯取締強化月間
- ◆職場における健康診断推進運動月間
 - 7日 北方領土の日
 - 11日 建国記念の日
 - 13日 苗字制定記念日
 - 22日 世界友情の日

《3月》

- ◆女性運動月間
 - 1日 全国緑化運動
 - 3日 平和の日
全国水平社創立
 - 9日 ありがとうの日
 - 21日 国際人権差別撤廃デー
 - 24日 世界結核デー
 - 31日 教育基本法
学校教育法発布の日



がんばったねの言葉で、はっぱが一枚増えます。
 えらかったねの言葉でもう一枚増えます。
 ありがとうの言葉でまた増えます。
 温かい言葉を栄養に
 ぼくらはどんどん育ちます。
 必ずいつかはきれいな花を咲かせます

平成19年度 茨城県保健福祉部編集発行「人権メッセージ集 やさしさはともだち」より

自分を大切に、みんなも大切に

平成24年度人権メッセージ
最優秀作品（小学校低学年部門）

ともだちになるとき、
 わたしからあいさつするんだ「こんにちは」って。
 けんかをしたとき、
 ちゃんとかなおりするんだ「ごめんなさい」って。
 たすけてもらったとき、
 ちゃんとつたえるんだ「ありがとう」って。
 ドキドキするのはさいしょだけ。
 だからたくさんともだちできたよ。



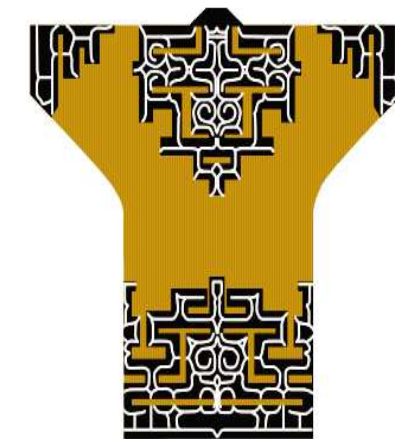
知っていますか？

みなさんは、アイヌの人々を知っていますか。アイヌの人々とは、古くから北海道に住んでいた人々です。独自の生活スタイルや文化（言葉など）をもって生活しています。



●「アイヌ」ってどういう意味だろう？

「アイヌ」という言葉は、アイヌ語でカムイ（神）に対する「人間」という意味で、民族という意味でもあります。しかし、この言葉が正しく理解されず、「ウタリ」（同胞・仲間という意味）という言葉が使われていた時期もありました。最近になってアイヌの人々は再び「アイヌ」という言葉に誇りをもつようになってきました。現在はどちらの言葉も使われています。



左の絵は、アイヌ民族の代表的な衣服ルウンペです。みなさんは、見たことがありますか。



人権のお話



1922年（大正11年）3月、京都市の岡崎公会堂で「全国水平社」の創立大会が行われました。

これを機に、身分差別で苦しめられてきた人々は、差別をなくすための運動に立ち上がりました。

部落差別により、今なお結婚を妨げられたり、職場で不公平に扱われたりするなどの人権問題が発生しており、この問題についての関心と理解を深め、偏見や差別をなくすことが必要です。

まず、この問題について
正しく理解しよう！



平成24年度人権啓発ポスターコンクール
入賞作品

言葉遣いを考えよう

言葉は暴力よりも怖い。改めて考え直したのは中学生の頃。思春期だったこともあったのか、人の言葉にものすごく傷つきやすかった。身体の傷は薬を使えば治るけど、心の傷は一生治らない時もある。一生治らない傷を言葉は一瞬でつけてしまうから怖い。

人と話すとき、そして言ったあと、自分の言葉の意味をよく考えてほしい。

治らない傷を減らすために。

平成19年度 茨城県保健福祉部編集発行
人権メッセージ集 「やさしさはともだち」より